

教養教育科目 講義科目

科目名：	法学入門		科目コード	GA37
科目主査：	齊藤 聡	担当講師：	齊藤 聡、長沼 秀明、弘田 忠史、 松岡 弘樹、山田 直樹、山田 祐司	
			単位	2
			配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク：	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
		個人ワーク：	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
<p>本科目では、まず憲法からはじまる法律の体系を学習し、法律の全体構成を理解します。さらに、「六法」（憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法）における基本的な考え方を学びます。本科目の学習を通じて、法律について興味・関心を深め、仕事や日常生活のなかで活用できるようになることを目指します。また、大きなトラブルに巻き込まれないように、少なくとも知っておきたい法律について学習します。現実の法改正の影響や事例紹介として映像資料を予定しています。資料を添付ファイルで提供しますので、そちらも参照して下さい。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：		
履修の前提となる知識 その他特記事項	法律の改正はビジネスに影響します。経営学では改正点をネット検索する基本知識が必要となります。			
テキスト	『日本一やさしい法律の教科書』品川 皓亮(著)・佐久間 毅(監), 日本実業出版社, 最新版			
この科目の到達目標	<p>①法律の基礎的な考え方を理解し、日常生活や仕事などに適用できる。 ②様々な事例（判例）の学習を通して法律的な対応について理解し、自身の生活上での立場に置き換えて応用ができる。</p>			
成績評価の方法	<p>授業への参画度が重要になります。出席、提出物、試験で成績評価をします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。</p>			
事後学習	授業中に取り上げられる事例は限られます。新聞、情報、ネット（ユーチューブ等）を利用して多数の事例に触れるようにしましょう。			
事後学習の参考文献	インターネットを通して安価なコストで様々な情報を入手することができます。意識的な情報収集を勧めます。			
スクーリング受講時に用意するもの				
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。				